

SUSTAINABILITY REPORT 2023

サステナビリティレポート【リーフレット】



日本生活協同組合連合会は、各地の生協や都道府県別・事業種別の生協連合会が加入する全国連合会です。生協には地域購買生協、大学生協、学校生協、職域生協、医療福祉生協など様々な生協がありますが、ここではおもに店舗や宅配事業を展開している地域購買生協を取り上げています。



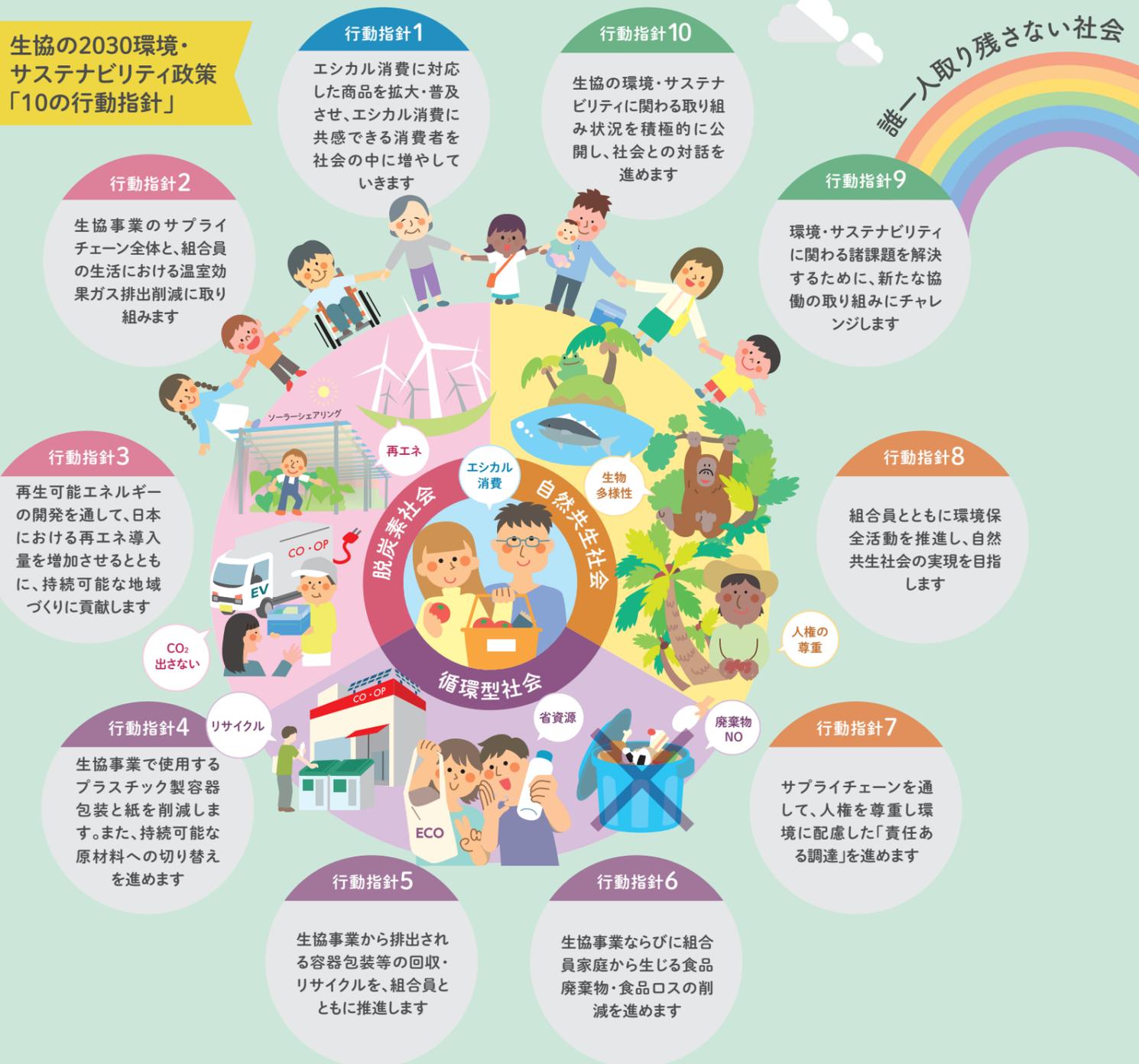
レポート本体は
こちらから
ご覧いただけます

CO-OP

「すべての人々が人間らしく生きられる豊かな地球を、未来のこどもたちへ」

生協は2021年に「生協の2030環境・サステナビリティ政策」を策定しました。この政策は、持続可能な社会を実現するために、全国の生協の事業と活動で推進する2030年までの政策です。上記のスローガンのもと、10の行動指針と5つの目標の実現を社会に約束しています。

生協の2030環境・サステナビリティ政策「10の行動指針」



数字で見る生協(コープ)



5つの数値目標と生協の環境・サステナビリティの取り組み

目標1 CO₂排出量を2030年に40%削減(2013年度比)します

再生可能エネルギーの利用を積極的に進めています(再生可能エネルギー導入率44%※1)



画像提供:パルシステム神奈川(EVトラック)

配送トラックのEV化について実用性の調査と段階的な導入を進めています

省エネ設備やノンフロン※2の冷蔵冷凍ショーケースを導入したエコストアを出店しています

※1 全国の生協が調査している電気、電源構成における再生可能エネルギーの割合
※2 オゾン破壊係数がゼロであり、代替フロンと違って地球温暖化係数が低い冷媒のこと

目標2

2030年までに年間発電量4億kWhの再生可能エネルギーを開発します

52生協615か所で、約2億kWhの再生可能エネルギーを創出しています



画像提供:生活クラブ連合会(ソーラーシェアリング)

風力発電やバイオマス発電、小水力発電、ソーラーシェアリングに関わっています

地域と連携し再生可能エネルギーの開発を進めています

目標3 使い捨てプラスチック容器包装の使用量を2030年に25%削減(2018年度比)します

食品トレイや卵パックに使うプラスチックの削減を進めています

店頭や宅配のお届け時に容器包装などを回収しています※3

回収したペットボトルなどをリサイクルする取り組みを広げています



画像提供:コープかごしま

※3 飲料紙パック約4,400トン、ペットボトル約3,400トン、食品トレイ約2,000トン、卵パック約2,100トン

目標4

商品カタログに使用する紙使用量を2030年に25%削減(2021年度比)します

アプリやWebカタログの利用を広げて、紙の商品カタログの配布停止を選択できる仕組みを導入しています※4

41生協が商品カタログに再生紙や認証紙などを使用しています

※4 すべての生協の事例ではありません



画像提供:コープさっぽろ

目標5 食品廃棄物を2030年に50%削減(2018年度比)します

食品リサイクルを積極的に進めています(食品リサイクル率は全国生協の平均で78%※5)

キズやサイズ違いで規格外になる農産物や天候被害果実などを販売しています

店舗では期限が近い商品の購入を促す「てまえどり」運動を展開しています

※5 食品廃棄物の発生量のうち、飼料や肥料等に再生利用した量の割合

※6 家庭で余っている食べ物を学校や職場などに持ち寄り、それらを取りまとめた地域の福祉団体や施設、フードバンクなどに寄付する活動。生協では、店舗や宅配で購入した商品をその場で寄付する活動も行っている。



画像提供:コープデリ連合会(フードドライブ) ※6

※数値は日本生協連が65生協を対象に実施した調査実績(2022年度)です。本紙に記載の事例はすべての生協が実施している内容ではなく、特定の生協で実施されている事例も含まれています。各目標に対する到達点や詳細についてはサステナビリティレポート本体に掲載しています。表紙の二次元コードからご確認ください。



コープサステナブルアクション

2023年は「コープサステナブルアクション」を実施しました。生協の組合員を中心に、環境や社会問題についてともに「知り」「学び」「アクションする」仲間を増やし、持続可能(サステナブル)な世界の実現を目指す取り組みです。2023年は37の生協が参加しました。2024年度もより多くの方が取り組めるよう、内容をアレンジして実施していきます。



📍 どこにある?

サステナブル



日々の暮らしの中にあるサステナブルな事例を「家の中」「外出中」「お店の中」の3シーンごとに紹介。サステナブルはむずかしいことではなく、身近な存在であることに気づききっかけづくりとなります。



サステナブルを学ぼう!

サステナブル博士の部屋

「エシカル」「脱炭素社会」「循環型社会」「生物多様性」の4テーマについて、学びを深めるコンテンツ。いま起きている課題について知り、何ができるかを考えるためのヒントになります。

🔍 見つけよう!

コープいきもの探しクエスト



「いきものコレクションアプリ『Biome(バイオーム)』内でクエストと呼ばれるイベントを開催しました。いつ、どこで、どんな生き物に出会ったかをアプリに投稿すると、そのデータが生物多様性保全のために活用されます。ゲームのように楽しみながら生き物について学べるため、会員生協の環境保全にかかわる活動の中で取り組まれました。



画像提供: 福井県民生協



画像提供: 京都生協



くらしの中で最も身近な「食」を題材に、サステナブルに配慮したレシピアイデアのコンテストを開催しました。

📺 動画で学ぼう!

SDGsのじかん



専門家や活動団体からの学習講演やトークセッションをととして、「エシカル」「地球環境」「未来」の3つのテーマについて考えるオンラインイベントを開催しました。

